

膵癌と地域連携

自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科
准教授 笹沼 英紀
(自治医科大学附属病院 中央手術部 部長)

膵癌は依然として予後不良の悪性腫瘍であり、その治療成績の向上は重要な課題である。膵癌は早期発見が困難な場合が多く、診断時に進行していることも少なくない。近年、切除可能性分類(R, BR, UR)に基づき、手術単独ではなく、術前補助化学療法や放射線治療を組み合わせた集学的治療が治療成績を向上させることが示されている。手術手技も進歩しており、ロボット支援手術の導入も進んでいる。これらの高度な治療を遂行するには、胆膵内科、肝胆膵外科、放射線科、臨床腫瘍科、緩和ケア科、看護師、薬剤師、MSW など、院内の多職種が緊密に連携するチーム医療が不可欠である。さらに、診断から治療、終末期医療に至るまで患者を継続的に支援するためには、基幹病院と地域の診療所(病診連携)、病院(病病連携)、調剤薬局、在宅医療チーム、さらには就労支援機関や行政まで含めたシームレスな「地域連携」が極めて重要となる。本講演では、膵癌診療の最新の動向と、集学的治療を支える地域連携の重要性について概説する。

略歴

出身校: 自治医科大学医学部 平成 6 年(1994 年)卒業

職歴:

1994 年 5 月	自治医科大学附属病院	初期研修
1996 年 5 月	芳賀赤十字病院 外科	
1998 年 5 月	栃木県栗山村立湯西川診療所	所長
2000 年 5 月	自治医科大学附属病院 消化器一般外科	後期研修
2002 年 4 月	南那須広域行政組合立 那須南病院 外科	部長
2008 年 4 月	自治医科大学 消化器一般外科	
2009 年 9 月	デンマーク オーフス大学 肝胆膵外科部門	
2010 年 9 月	小山市民病院 外科	
2011 年 9 月	自治医科大学 消化器一般移植外科	
2013 年 4 月	自治医科大学 消化器一般移植外科	講師
2017 年 8 月	自治医科大学 消化器一般移植外科	准教授

学位:

2008 年 2 月「大腸癌同時性肝転移の一期的手術に関する基礎的・臨床的研究」(自治医科大学)

所属学会:

日本外科学会: 専門医、指導医

日本消化器外科学会:専門医、指導医
日本肝胆膵外科学会、高度技能専門医
日本腹部救急学会 認定教育医
日本膵臓学会 認定指導医
日本胆道学会 認定指導医
日本超音波医学会 指導医、専門医、
日本医師会認定産業医

学会役職:

日本肝胆膵外科学会 評議員
日本腹部救急学会 評議員
日本超音波医学会 代議員、安全委員会委員
日本胆道学会 評議員

2023 年

ロボット肝胆膵外科手術:Certificate 取得(デンマークコペンハーゲン大学肝胆膵外科部門)

受賞:

- 2017 年 12 月 ePoster Award, 腹腔鏡下膵体尾部切除における電動式自動縫合器を使った膵離断定型化の試み, 日本内視鏡外科学会
- 2016 年 2 月 病院長賞, 自治医科大学附属病院
- 1996 年 ベストポスター賞, 広範囲な転移を伴う悪性褐色細胞腫の2治験例, 日本内分泌外科学会